

EVENT REPORT

ATDBの交差する 「イノベーションビオトープで 生み出す未来志向型人材」とは？

2025年8月28日 @アート&テクノロジーヴィレッジ京都

社会が急速に変化する中で、既存の枠組みを越えて挑戦する人材が求められています。KPMGコンサルティング株式会社は、ATDB（アート、テクノロジー、デザイン、ビジネス）の壁を越えて、未来を切り開く人材をテーマとしたイベントを開催し、企業やクリエイティブ関係者、自治体職員が集い、対話と共創を通じて新たな育成のあり方を探りました。

PROGRAM

01

INSPIRATION TALK

イノベーションにチャレンジしている方々とのクロストーク



PROGRAM

02

WORKSHOP

「イノベーターに必要なもの」を構想する共創アイディエーション



KPMGコンサルティング株式会社 株式会社BIOTOPE 株式会社フューチャーセッションズ

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

© 2025 BIOTOPE

© Future Sessions, inc.

01 INSPIRATION TALK

イノベーションにチャレンジしている
方々とのクロストーク

株式会社ワントゥーテン
取締役副社長 COO

梅田亮さん



人々を惹きつけ理解を促す “旗を立てる力”

シンガポールで、未来のまちのあり方について理解してもらうための動画が公開されました。3分くらいの動画ですが、これまでの古いものを活かしながらかし刷新していくワクワク感や期待感を伝えるには十分でした。大きなビジョンを実現するには、様々な人達から理解を得て合意形成を進めていくことが必要になります。そのために多くの人を惹きつける“旗を立てる力”がすごく大事だと思っています。

異能をまとめる “共通の敵(=課題)を設定する力”

尖った人が集まると衝突も起こりやすくなります。でも、目線を変えることで協働に昇華される、そのためには、大きな課題を「敵」と見立てて共通の目標にすることで、協力しやすくなると思っています。ただ、課題の設定はとても難しく、お客さんと話していても当事者ほど自分の課題に気づいていないので、一見関係ないような視点からの質問を投げかけることで、気づきを生むような働きかけを大事にしています。

株式会社アイデアブルワークス
代表取締役 CEO

寺本大修さん



尖った人材をコントロールできる人財も含めて “イノベーション「チーム」をつくる力”

社長として“仲間を集めること”が自分の役割だと思っています。僕は経営全般をRPGだと思っていて、自分だけではできないことを実現するため、常に、優秀な人達を惹きつけるために何をやるべきかを考えています。個人ではなく組織でイノベーターになる、という考え方が正しいのかもしれませんが。

1つの事象に対して飛躍させた個人的な 解釈をすることで新たな発見に繋がる “アブダクション力”

僕の会社のサービスはソリューションとしては新しくはありません。でも、“課題の捉え方”が新しかった。これまでの常識や固定概念を除外して考える時に、“自分にはどう見えるか”を大事にすることが発見につながると思っています。そういう意味で、新しさを見つけるヒントに“アブダクション力”があるのかもしれませんが。

一般社団法人アソボロジーコモン
京都橘大学非常勤講師、京都市職員

伊藤圭之さん



怖がる力よりも面白がる力 “面白がりティーン”

イノベーターや新しいことを考える人は、本当に、怖がったり心配する力よりも、面白がったり楽しんだりする力が強い人が多いと実感しています。そういう自由人マインドに加えて、それを理解して許容してくれてる環境があることが重要だと思います。

相手の立場を理解して説明する “翻訳力”

例えば官民連携のように、立場が違う人と連携する場面では、文化と言語が違いすぎる問題が大きい。その壁を越えてお互いの共通理解をどのように作るかを僕は大事にしています。自分の都合で言いたいことをいうのではなく、相手の文化や言語にあわせて“翻訳”することで、スムーズに話が進むことがあります。

02 WORKSHOP

「イノベーターに必要なもの」を構想する
共創アイディエーション

人材育成プログラム

2025年12月頃スタート予定!

講義と実践の2つの形式で実施。実践編では、京都の実フィールドの課題や目指す姿などをベースに、自らテーマ・パートナーを設定し、企画構想から実証事業化までプロジェクトベースラーニングで学ぶことができます。

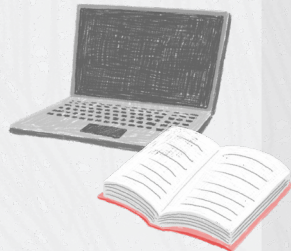
プログラムはATVKおよび
オンラインのハイブリッド形式

Term01 3ヶ月

「学ぶ」

講義(WS含む)を通じた、
基礎スキルの研鑽

※希望により講義のみの受講も可能です



Term02 6ヶ月

「実践①」

実課題をベースに自ら
テーマ・パートナーを設定する企画検討

Term03 6ヶ月

「実践②」

産業リーディングゾーンおよび
スマートシティ地域での実証事業化



こんな方に!

社会課題解決志向のクリエイティブな
スキルを身につけたい若手～中堅の社会人の方

- 企業: 経営企画、新規事業開発部門の方
- 自治体: 政策企画系の部門、官民連携担当の方
- クリエイティブ業: ソーシャルデザインやデザインコンサル業の方

